

今年は例年になく猛暑の夏でした。新型コロナウイルス感染症対策で、暑い中でもマスク着用で頑張りました。そのコロナも少し下火になったと思うと、あっという間に秋となり、涼しい日々がやってきました。エルニーニョ現象で、暑い夏の後には今年は大雪がやってくるとか、北国ではすでに雪のニュースも届いています。今年の冬は、どんな寒さになるのでしょうか？ 世界では、ウクライナでの戦争、欧米のインフレ、欧州のエネルギー供給危機などが続いています。こうした世界情勢や四季の移り変わりの速さに戸惑う今日この頃です。

さて、本号の特集は、「小児科医に求められるスポーツ医学の知識」です。さまざまな観点から小児のスポーツ医学について解説いただきました。「小・中学生の身体活動の現状と問題点」では、運動をする子としない子の二極化や、運動量のバランス化が重要であることが述べられています。「ジュニアアスリートの低年齢化がもたらすもの」では、運動選手の低年齢化にともなう問題点が述べられています。「小児のスポーツ外傷とスポーツ障害の診察」では、小児科医が遭遇する可能性があるスポーツ外傷や障害への対処が概説されています。「スポーツの場面におけるコロナ感染症対策」では、最近よくみる部活でのクラスター発生予防などについて述べられています。「スポーツ中の熱中症」では、小児が熱中症になりやすいこと、予防と対策について概説いただきました。「アレルギーを持つ子どものスポーツ参加」では運動により誘発されるアレルギー疾患について、「循環器疾患をもつ子どものス

ポーツ参加」では運動制限の必要性や突然死予防などについて、「糖尿病をもつ子どものスポーツ参加」では糖尿病だからといって運動をしてはいけないことではないというメッセージが述べられています。「女性アスリートの月経異常」では、高度なスポーツ選手にありがちな月経異常へのサポートの重要性が述べられています。「ジュニアアスリートのメンタルヘルス」では、運動選手が直面するメンタルやそのサポートについて、「ジュニアアスリートとアンチ・ドーピング」では小児科医が国際大会などに出場する運動選手に処方する可能性のある薬について解説されています。

特集のほか、総説「成人慢性咳嗽診療の最前線」は成人のみでなく小児にも役立つ咳についての概説です。トピックスとしては「乳児の突然死における家族・遺族ケアシミュレーション研修会の試み」と「当院における炎症性腸疾患合併妊娠の検討」が載っています。

また、症例報告「唾石症による反復性耳下腺炎と考えられた1例」、目で見える小児科は「両側多嚢胞性異形成腎による Potter シークエンスの胎児 MRI」と「超音波検査を契機に診断された新生児期に遷延する多呼吸を呈した左肺底動脈大動脈起始症の1例」の2編です。

「最近の外国業績より」では日本医科大学小児科学教室から神経に関する論文を紹介いただきました。

以上、非常に充実した、日常診療に役立つ内容になっていますので、秋の夜長にご一読下さいますようお願い致します。
(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC 順）

小児科

第63巻 第10号 10月号

2022年10月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕

Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕

Fax 03(3813)0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。